

原田毅議員

雇用と経済対策について

議員 住宅リフォーム助成制度については、平成24年度から3年実施されるとの事業計画があると聞いていますが、その内容をたずねる。

市長 他市の実施状況を参考にしながら、助成率・上限・補助件数等、制度の設計を行っている。平成24年度の実施に向け、ほかの助成事業と兼ね合わせながら検討している。

新エネルギーへの対策について

議員 新エネルギーへの取り組みを進めるため、専門的組織機構と人材育成の取り組みについてたずねる。

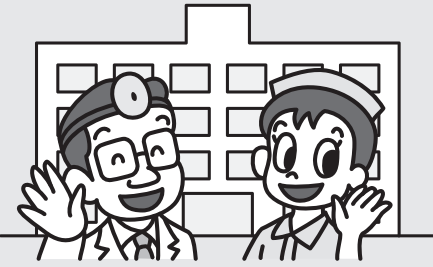
市長 新エネルギーに関する具体的な取り組みを進める中で、将来、専門的な組織を設置していくための人材育成も対応していく必要があると考えている。

国民健康保険事業について

議員 国民健康保険税が高過ぎて払えないという声が引き続き寄せられている。

国民健康保険税をさらに引き下げていくべきではないか。

市長 今年度も保険給付に要する費用は不足を生ずると見込んでいる。大変厳しい状況下ではあるが、経営努力はもちろん、基金の状況も踏まえながら、中・長期的な視野に立って運営を進めていかなければならない。国民健康保険税の引き下げは、状況を見ながら判断しなければならぬ。



蔵本隆文議員

3・11震災後の笠岡市における新規公共施設について

議員 ①神島保育所の建て替え予定地に対して反対運動があるが、執行部はどのように考えているのか。

②学校給食センターについて、予定地として、中央小学校のグラウンドの一部が望ましいとしているが、決定に至った経緯をたずねる。

市長 ①神島保育所を建てる目的は児童の健全育成である。今回はそのための方針や手段が問われている。場所の選定は3・11以前であり、その後安全性に対する意識が変わってきていることを考え、神島の方が地域内で対立することがないように、市の考え方に対して意見を伺い、十分に協議することが重要である。

教育長 ②学校給食衛生管理基準で定められている時間内に学校へ配送可能な場



神島保育所

所、雑排水を公共下水道の本管へ流せる場所、そして、用地取得が不要な中央小学校の運動場の一部に決定した。

井笠バスの市役所前停留所について

議員 市民の来庁に便宜を図ることはもちろん、職員のバス通勤を促進させ、バス路線存続のために市役所自ら少しでも努力をすることが大事ではないか。進捗状況をたずねる。

市長 諸条件が整い、利用者の満足度が向上することが担保できれば、バス運行事業者と緊密な連携を図り、実施に向けて検討したい。

森岡聰子議員

災害弱者支援について

議員 災害時に介護が必要な高齢者や障害者らの優先避難先となる「福祉避難所」の早急な整備が求められる。本市の整備状況等についてたずねる。

市長 本市では、現在、福祉避難所として設定している避難所はないが、老人福祉施設や障害者支援施設などと協議し、平成24年度中に福祉避難所として利用可能な施設を指定し、地域防災計画に盛り込んでいく。

充実した子育て支援について

議員 地区の実情に応じた幼・保一体化についてどのように考えているのか。

市長 多くの課題があると考えている。特に施設の課題は、今後新たな施設の建設等に合わせ、幼・保一体化を視野に入れて検討して